



# 浜っこだより

令和8年 1月号

TEL: 75-0340



## 明けましておめでとうございます

去年は隣保館の様々な事業にご参加、ご協力いただきありがとうございました。  
隣保館職員一同お礼申し上げます。  
今年も人権・同和問題解決の拠点施設として、差別のない社会を目指して、皆様方と共に研鑽して参ります。  
「気軽に来れる浜原隣保館」として、皆様方をお待ちしております。  
本年もよろしくお願いいたします。

浜原隣保館職員一同

## 邑智中2年生「人権学習」



講師: 太田明夫さん

【12月10日(水)】講師に太田明夫さん(ハンセン病問題を共に学び共に闘う全国市民の会)をお迎えしました。ハンセン病問題について講演していただき、その中で当事者の方のDVDを見ました。その後、グループごとに感想や質問、意見交換を行い、発表もしました。

(感想)

私がこの講演会で一番感じたことは、差別というものは身近にあったということです。そう思った理由は太田さんに見せてもらったビデオです。幼い頃にハンセン病を患い、家族に会えなかった寂しさや悔しい思いをビデオの中で語られていました。

この講演で知ったことは、ハンセン病になった人の家族も被害にあっていることです。

差別はうわさから始まると知って、そのうわさは本当のことなのか、自分で確かめることで嘘が分かる。うわさに安易に騙されず生きていきたいと思った。

最初自分の周りにはハンセン病の人がいないからあまり関係のないことだと思っていたけど、ハンセン病についての差別は今も続いていることが分かった。

## いろは倶楽部

2月25日(水)  
13:30~15:30

脳トレ

ゲーム・体操

工作・塗り絵

療育音楽



※ いろは倶楽部では、タクシー送迎ができます。  
詳細は、浜原隣保館にお尋ねください。

人権啓発講座

## ~ ちろて気づき ~

12月は、菅野泰藏さん(心理カウンセラー)の記事(広報「白鳥」Tea Timeより「褒めるか叱るか」)を読み、皆さんで考えてみました。その記事では、「その思い込み本当に合ってる?」という挿絵の吹き出しをもとに、「褒めて伸びるタイプ」「叱られて伸びるタイプ」をどちらも実際の場面で個々の特性に合わせて考えてみましょう!と問いかけていました。

- ♥ 「オリンピック選手は叱られて伸びる人が多いらしいよ!」
- ♦ 「へー 何でだろうね?」
- ♥ 「負けたくないと思う気持ちがないと残れないんだって!」
- ★ 「それぞれ個々で特性を観察し、相手はどう感じるか考えて褒めたり叱ったりすることが必要なんだね」

という気づきでした。



## 人権コラム

今年最初のコラムは、「できたら素晴らしいこと10ヶ条」をお教えしますので、今年一年これを目標にしてみてください。

- |            |             |
|------------|-------------|
| ① 1日は早起きから | ② あいさつは自分から |
| ③ 会話は傾聴から  | ④ 説明は結論から   |
| ⑤ 自信は姿勢から  | ⑥ 知識は学習から   |
| ⑦ 技術は真似から  | ⑧ 努力は目標から   |
| ⑨ 経験は挑戦から  | ⑩ 行動は今から    |

今年一年が良い年でありますように!

## 相談事業

人権相談、生活相談、就労相談、福祉・健康相談、教育相談など幅広く相談に応じています。

隣保館での相談内容は

『外部にもれることなく、料金もかかりません』

お気軽にご相談ください。

2月の予定

- 3(火) スマホ教室(星組)
- 4(水) 筆ペンの美文字教室
- 5(木) 邑智小5年生「人権学習」
- 6(金) カラオケ教室
- 16(月) 新 太極拳教室

- 17(火) 邑智中3年生「人権・同和問題学習」
- 18(水)・19(木) 確定申告
- 19(木) スマホ教室(月組)
- 25(水) いろは倶楽部
- 27(金) 古文書教室

